

現計画	内容	方向性
北海道立精神保健福祉センター 岡崎委員		
	<p>【資料2 P3】「北海道におけるアルコール依存症者の状況」の2つの表について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「<input type="checkbox"/>アルコール等依存症の精神外来患者数」の文言について、この表現では「アルコールとそれ以外の依存症」という意味になるのではないか。アルコール精神病等アルコールに関する病名ということであれば、「アルコール依存症等」という文言が良いのではないか。 <p>「<input type="checkbox"/>アルコール等依存症の精神外来患者数」→「<input type="checkbox"/>アルコール依存症等の精神外来患者数」</p>	<p>改めて出典元データを確認したところ、アルコール依存症であったため、アルコール依存症の精神外来患者数に訂正しました。</p>
北海道精神病院協会 芦澤委員		
<p>p12 2 進行予防 (2) 医療の充実等 ○アルコール健康障害に係る医療の質の向上 ○医療連携の推進</p>	<p>① アルコール性肝炎とアルコール依存症（ア症）は全く独立した疾患であるが、オーバーラップがあり、内科と精神科の連携が必要である。精神科医の立場からはAUDITを実施して欲しいが、AUDTを実施するのは大変なのでCAGEでもいいからスクリーニングをして、重症化する前にア症を診る病院やクリニックに紹介して欲しい。減酒療法などは、内科医が行ってもよいと考える。このことについての議論が必要である。</p>	<p>○スクリーニング ○精神科と内科医との連携</p>
<p>p12 2 進行予防 (2) 医療の充実等 ○アルコール健康障害に係る医療の質の向上</p>	<p>② 高齢化のためア症のプログラムにのらない患者が増加している。認知症の併発があり、どのように処遇するかの問題がある。介護の場面での治療・介護抵抗が著しいケースが少なくない。個別性が高く、具体的にどうするべきか議論が必要である。</p>	<p>○高齢化のアルコール依存症患者への治療法について</p>

現計画	内容	方向性
P15 3 再発予防 (2) 民間団体の活動に対する支援	③ 断酒会、AA等の 自助グループの高齢化による弱体化 が著しい。過疎がその傾向をさらに助長している。地域でのア症者のサポートが困難になってきている。各地の現状の報告と対策について議論が必要である。	○自助グループの高齢化による弱体化
p12 2 進行予防 (2) 医療の充実等 ○アルコール健康障害に係る医療の質の向上	④ ア症を専門的に診ることのできる医師が極めて少ない 。専門医療機関でなくとも精力的に見ている施設があり、 専門医療機関でもどの程度診ているのか疑問がある場合 もある。実態との乖離の調査と具体的な対策を議論すべきと考える。	○専門医、専門医療機関
p12 2 進行予防 (1) 健康診断及び保健指導	⑤ 職場でのア症のスクリーニングとしてAUDITあるいはCAGE を行って欲しい。 ストレスチェックと組み合わせると実施しやすいのではないかと考える 。具体的にア症に関する識者を中心にAUDIT20点以上は精神科受診を勧めるなどの方向性を議論し、道としても推奨できるような形になるまで議論して欲しい。	○職場でのスクリーニングの導入
(会議運営)	⑥ 総花的な参加や活動の確認のための推進会議でなく、年度ごとの目標を決め、議論を深めるのが望ましいと考える。	※会議の運営の工夫

現計画	内容	方向性
(その他)	<p>⑦ 来年第48回日本アルコール・嗜癖関連問題学会（旧アルコール関連問題学会（大会長芦澤健）を2026年10月9日（金）～11日（日）の3日間、札幌コンベンションセンターにて開催することとなった。第61回日本アルコール・アディクション医学会（大会長白坂知彦）と共に2026年アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会として、また2026 Sectional Meeting of Asia-Pacific Society for Alcohol and Addiction Research（大会長 宮田久嗣）と共同開催。我が国の依存症・アディクション問題は多岐にわたり、時事問題となることも少なくない。様々な分野や領域の知の集結が必要と考えている。北海道からも専門家の参加、特にアルコール健康障害対策推進会議の方々の参加は、今後の北海道のアルコール問題を考えていく上での様々な示唆があるのではと考える。1000人規模の学会で、10年に1度くらいで開催されている。経済的理由、人材不足があり、たぶんこのように大きな形で開催できるのは、最後かもしれない。どうか振るって参加して欲しい。</p>	